

## 「地区（自治）公民館を中心とした地域づくり」

～きずな深まるボランティア活動～

豊前市前川公民館

中本 勝子

### 1. 周辺環境と公民館組織

私が暮らす豊前市は福岡県の東南部に位置し、人口約 27,000 人。南に修験道で有名な求菩提山、北におだやかな周防灘を望む自然豊かな田園都市です。豊前市の主な産業は農業や自動車関連産業などの工業です。但し、福岡市や北九州市から少し離れていることもあり、人口は減少傾向にある過疎地域です。

市内には中央公民館をはじめとする地域公民館が 12 館、前川公民館のような自治公民館（類似公民館）が 98 あります。前川公民館は豊前市八屋の前川にあり、約 220 世帯 520 余りの人が関係をしています。現在の建物は平成 13 年に移転新築されました。市内では比較的新しく冷暖房も完備した公民館です。公民館は前川地区の人たちにとって自分の家と同じように大事な財産として活用しています。

公民館組織としては役員に館長・総務・会計がおり、運営委員は区長をはじめ、老人会・婦人会・昭和会・子ども会・若獅子会などの各種団体の長 10 名で構成しています。



平成 13 年 3 月 建立前川自治公民館



公民館大ホール

### 2. 運営状況

#### ① 定期利用

ジュニアバレーボール、各種スポーツ団体の合宿、カラオケ、日本舞踊、声楽の会、各種団体の会議など

#### ② 特別行事利用

通夜・葬儀、八屋祇園（4 月）、盆踊り（8 月）、輪投げ大会、敬老会（9 月）、味噌作り（婦人会、12 月）、門松作り（年末）、餅つき大会（1 月）

## ※特別行事の紹介

### 【八屋祇園】

福岡県の無形民俗文化財に指定されている豊前市山田にある大富神社の春の神幸祭のことです。4月に入ると前川公民館などを会場に若獅子会指導による子どもたちのお囃子練習が始まります。最初はバラバラでぎこちなかった囃子も祭りが近づくに連れて上手になり、その音に子どもたちはもちろん、まわりのおとなたちも心が躍り、次第に盛り上がります。



### 躍り車の飾りつけ

女性陣も同時に忙しくなります。祭り三日間（4月29日～5月1日）の賄いがあるからです。煮しめやから揚げを準備し、前川地区に集まる人全員に振舞います。この祭りは地区の人全員が一つになる大切な祭りで、みんなが1年中でもっとも楽しみにしています。この地区に生まれ育ってよかったと実感する祭りです。

### 【敬老会】

地域の各種団体、老人会、婦人会、子供会などが総力を挙げて取り組む大きな行事として、9月の敬老の日に行う敬老会があります。まず、敬老会対象者の送迎をし、一人でも多くの方々が参加できるように努めます。厳粛な式典から始まり、詩吟、踊り、銭太鼓、カラオケと様々なアトラクションが続きます。その中で子供会のみんなからお年寄りの方々へ呼びかけを行い、手作りの勲章を一人一人の首にかけてあげ、かわいい歌声でお年寄りを敬い、感謝の気持ちを伝えます。また、手芸部員からも心温まるプレゼントがあります。一年がかりで入念に準備し、当日感謝の気持ちを込め全員に送ります。お年寄りに大変喜ばれています。式典の最後は全員で大きな輪になり、炭鉾節を踊り、万歳三唱でフィナーレです。これも地区の全員がひとつになる大切な行事です。

### お囃子の練習風景



## 敬老の日の様子

### 3. 事業の成果

豊前市の多くの自治公民館は各地区の寄り合い等の会議が中心で大きな行事の中心として機能することが少ないようです。それに対して前川公民館は葬儀等の利用があり収入があることも大きいのですが、自主運営ができており、何よりも八屋祇園をはじめとする地域行事の中心として運営されています。行事のたびに、地域の人々が集い、自分たちで話し合いを行い、利用しています。また、普段に利用者も多いことから、ここが地域の交流の場となり憩いの場となっていることが地域に一体感を生んでいます。祇園祭もそうですが、敬老会でも子どもからおとなまでが様々な関わりの中で行事を盛り上げます。昨年の敬老会は台風のため豊前市では早々に中止が相次ぎましたが、前川地区は台風がややそれたこともあります。みんながやろうじゃないかという雰囲気の中で開催し、多くの高齢者の方に喜ばれました。これらの地域の一体化が公民館運営の成果と考えます。

### 4. 今後の課題

ほかの地区も同様だと思いますが、少子高齢化がまず大きな課題です。豊前市では現在、東九州道の建設が進んでいますが、インターチェンジができる場所は、前川地区から5キロ近く山側に入ったところです。また、国道も現在はバイパスができて少し山側に通っています。そのため、かつて豊前市の中心であった八屋は、市の中心から外れた形になっています。そのため、若い人を中心に人口が減っており、過疎地区になろうとしています。実際、港を持つ宇島地区には限界集落が存在します。若者人口が減れば活気がなくなり、現在、元気な高齢者もいずれ活動ができなくなります。そうすると、色々な行事を担うことができなくなるのではないかと危惧しています。

もう一つは、財源の確保です。今でも節約に努め、収支のバランスの維持に努めてはいますが、現在の収入の確保は将来的には厳しい面も否定できません。市からの助成は増える見込みはなく、葬儀も多様化と小規模化、業者任せとなり、地域での利用は増えません。また、地域各戸負担をむやみに増やすこともできません。今後は新たな利用者の確保などが必要だと感じます。

### 5. 最後に

課題も多い公民館ですが、何よりも地域の中心として、心のオアシスとしても存在感は私たち住民にとってなくてはならないものです。今後もよりよい公民館活動を目指してがんばりたいと思います。

問い合わせ先

前川公民館所在地

豊前市大字八屋366-1

TEL: 0979-82-6517 中本勝子